



市内 19 の小中学校では、給食で出る牛乳パックを洗って、リサイクル業者に引き渡しています。

1 個のトイレットペーパーを作るのに必要な給食用牛乳パックは約 30 個。紙パックのリサイクルを通して二酸化炭素の排出を削減し、地球温暖化の防止につなげています。写真は、飯梨小学校の児童の皆さん。

特集

小さな行動が 未来につながる

クール CHOICE 「明るい未来を選択しよう」

COOL CHOICE という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これは、省エネに関わる製品やサービス・行動等、地球温暖化対策のためのさまざまな「賢い選択」をする運動を言います。マイバッグ持参やエコドライブ、こまめな節電。こうした日常の行動がこの運動につながっていきます。地球温暖化が進む中、その対策として私たちにはどのようなことができるでしょうか。



一人一人の意識が大切

日本は 2030 年度までに温室効果ガスを 2013 年度比で 26% 削減する目標を掲げています。

26% を安来市に置き換えると、2030 年度は 39 万 9230 t の排出量に抑える必要があります（2013 年度の排出量は 53 万 9500 t）。その差は 14 万 270 t。これは 350 ml の缶ジュース約 3 億 8000 万本分ということになります。

これだけの温室効果ガスを削減するためには、一人一人が意識的な対策に取り組むことが大切になってきます。

身近なところから

安来市は、市内事業者（15 事業者 19 店舗）と安来市地球温暖化対策地域協議会との間で、レジ袋の削減を目指す協定を結んでいます。

この協定で事業者は各店舗でレジ袋を有料販売し、その収

今日から始められるクールチョイス

エコドライブを

■車の乗り方

発進時にふんわりアクセルをするだけで、燃費が10%程度良くなります。

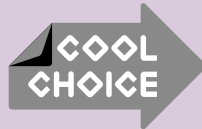
走行時は車間にゆとりをもち加減速を少なくし、減速時は早めにアクセルを離すようにしましょう。停車時は無駄なアイドリングをストップすると排気ガスの排出を抑えることができます。1年間で約344kg-co₂の削減

■冷暖房を使うとき

冷房は28℃、暖房は20℃に設定するようにし、使用時間の短縮を心がけましょう。

エアコンフィルターをこまめに掃除すると冷暖房の効きが悪くなるのを防げます。

1年間で約85kg-co₂の削減



■照明を電球形LEDに変える

電球形LEDは、白熱電球と比べると消費電力は約85%少なく、寿命は約40倍あります。

電球形LEDは白熱電球よりも高価ですが、買い換え回数や消費電力を考えると電球形LEDの方がお得で省エネにもなります。

■マイバッグ持参

買い物に行くとき、マイバッグを持参することは、温室効果ガス削減のために最も身近に取り組みやすいことの1つです。

問い合わせ：環境政策課 ☎23-3098



▲「食品のやまさき」でのマイバッグ持参率は約8割です。

協定に賛同している「食品のやまさき」（安来町）の山崎達郎さんは「この取り組みが子どもたちの環境活動に役立っていることはとてもうれしいです。買い物でマイバッグを使うという身近なことから、環境への意識を変えていけたら良いです」と笑顔で話します。

マイバッグ持参という小さな行動が、環境への意識を大きく変えるきっかけになるのかもしれない。



▲山崎達郎さん

益金を協議会に寄付。協議会はその寄付金をもとに小学校で行う環境活動への補助を行っています。



▲工事中の市民体育館。現在、全面に足場が組まれています。

現在、耐震工事中の市民体育館は照明を無電極ランプに交換予定。このランプを採用した理由の1つは「環境に優しい」ということです。

市民生活部の大久佐次長は「無電極ランプの特徴は寿命が長く、消費電力が水銀灯の3分の1で省エネにつながるという点。また、瞬時点灯・再点灯ができ、無駄な電力を抑え二酸化炭素の排出を削減できます」と話します。

公共施設の器具などでは照明の交換など、できることから「賢い選択」を進めています。

エコな体育館に



▲市民生活部 大久佐次長